# 4 OBD 検査要否確認を行う

車両受付が完了したのち、OBD 検査が必要かどうかをアプリで確認します。

**メモ**

OBD 検査の対象となる車両の電子車検証には、「OBD 検査対象」などの記載がありますが、これらの表示がある場合でも法令等で定められた条件により OBD 検査を実施しなくてもよい場合があります。そのため、OBD 検査対象車には、アプリを使用して「OBD 検査要否確認」を行ってください。

## 4.1　OBD 検査の要否を確認する

**メモ**

インターネット通信の状況によって、確認に時間がかかる場合があります。

### 1. 車両受付が完了した後、「検査要否確認」を押す

OBD 検査の要否確認が開始されます。

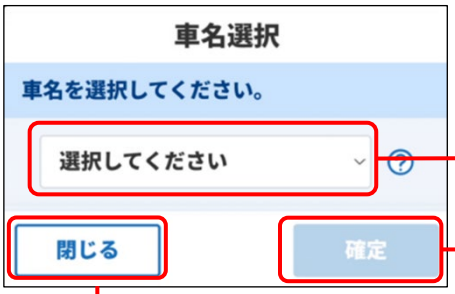
以下の画面が表示された場合は、画面に従って車両の情報を入力してください。

- 《車名選択》画面が表示された場合（P. 45）
- 《車両 ID 入力》画面が表示された場合（P. 45）
- 《その他燃料選択》画面が表示された場合（P. 45）
- 《燃料の種類確認》画面が表示された場合（P. 46）

### 《車名選択》画面が表示された場合

対象の車両を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等に記載されている車名をプルダウンリストから選択して、「確定」を押してください。




検査する車両の車名を選択します。

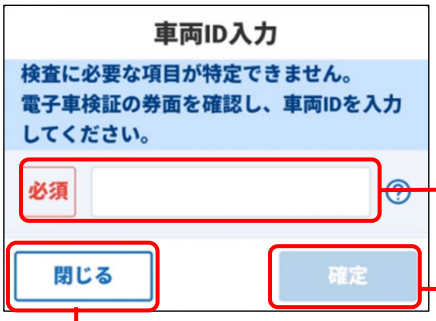
選択した車名を確定して画面を閉じます。

車名を確定せず画面を閉じます。
要否確認はできません。

### 《車両 ID 入力》画面が表示された場合

対象の車両 ID を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証に記載されている車両 ID を入力して、「確定」を押してください。




検査する車両の車両 ID を入力します。

入力した車両 ID を確定して画面を閉じます。

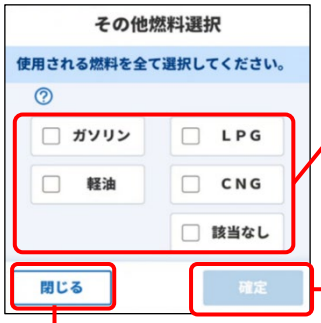
車両 ID を確定せず画面を閉じます。

車両 ID は、電子車検証の左下（欄外）に記載されています。

### 《その他燃料選択》画面が表示された場合

その他燃料の情報追加が必要な場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等の「燃料の種類」や「備考」欄に記載されている燃料をすべてチェックして、「確定」を押してください。




使用される燃料すべてに
チェックを付けます。

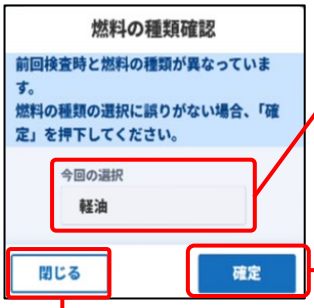
選択した燃料を確定して
画面を閉じます。

燃料を確定せず画面を閉じます。
要否確認はできません。

### 《燃料の種類確認》画面が表示された場合

前回検査時と燃料の種類が異なる場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等に記載されている燃料の種類と表示されている燃料の種類が同じであることを確認して、「確定」を押してください。




今回選択された燃料の種類が表示されます。

表示されている燃料の種類で確認して画面を閉じます。

燃料の種類確認を確定せず画面を閉じます。
要否確認はできません。

## 2. 結果を確認する

入力内容が問題なければ、《車両受付》画面から《検査要否確認》画面に遷移します。

検査要否確認の結果は、以下のいずれかが表示されます。

| 結果 | 説明 |
|---|---|
| OBD 検査が必要です | OBD 検査を実施する必要があります。 |
| OBD 検査が不要です | OBD 検査を実施する必要がなく、検査はできません。 |
| OBD 検査不可です | OBD 検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。 |

OBD 検査要否の結果に応じて、以下の操作を行ってください。

**ご注意**

エラーの詳細については、「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

### 「OBD 検査が必要です」の表示がある場合

「5 OBD 検査を行う」に進んでください。

### 「OBD 検査が不要です」の表示がある場合

これ以上の操作は必要なく、OBD 検査は終了です。ただし、以下の操作は実施できます。

- OBD 検査要否確認結果の帳票（PDF ファイル）や CSV ファイルのダウンロード

  「6.2 OBD 検査結果を出力する」を参照
- 関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧

  「4.2 関連情報を確認する」を参照

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。

- 詳細については、「■検査種別（モード）」（P. 9）を参照してください

**メモ**

「OBD 検査が不要です」となった場合、結果欄の下に OBD 検査開始日が表示されます。

### 「OBD 検査不可です」の表示がある場合

OBD 検査モードの場合は、これ以上の操作はできません。OBD 検査対象車であって、初度登録年月または初度検査年月から 10 か月経過していて、かつ車検証に記載（電子車検証の場合は IC タグ情報に格納）されている OBD 検査開始年月日が過ぎているにもかかわらず「OBD 検査不可」と表示される場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。ただし、画面の上部にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

また、OBD 検査を終了しても、関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧は可能です。

詳細については、「4.2 関連情報を確認する」を参照してください。

# 4.2　関連情報を確認する

車両について、以下の関連情報を確認できます。

**メモ**

関連情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- データリンクコネクタの位置

  「■データリンクコネクタの位置を確認する」（P. 48）を参照

- 過去の OBD 検査実施履歴

  「■過去の OBD 検査実施履歴を確認する」（P. 50）を参照

## ■データリンクコネクタの位置を確認する

### 1.　「データリンクコネクタ位置」ボタンを押す

## 2. 詳細を確認する

接続端子を挿入する角度・向きなどを確認できます。

左右ハンドルの情報がある場合、タブを押して切り替えられます。

データリンクコネクタの参考画像が表示されます。

虫眼鏡のアイコンを押すと画像が拡大表示されます。なお、表示されるのは端末の縦画面のみです。

データリンクコネクタの説明文が表示されます。

情報が複数ページある場合、
を押して、ページを切り替えます。

この画面を閉じます。

データリンクコネクタの角度・向きがイラストで表示され、カバーの有無が表示されます。

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。

### 《燃料の種類確認》画面が表示された場合

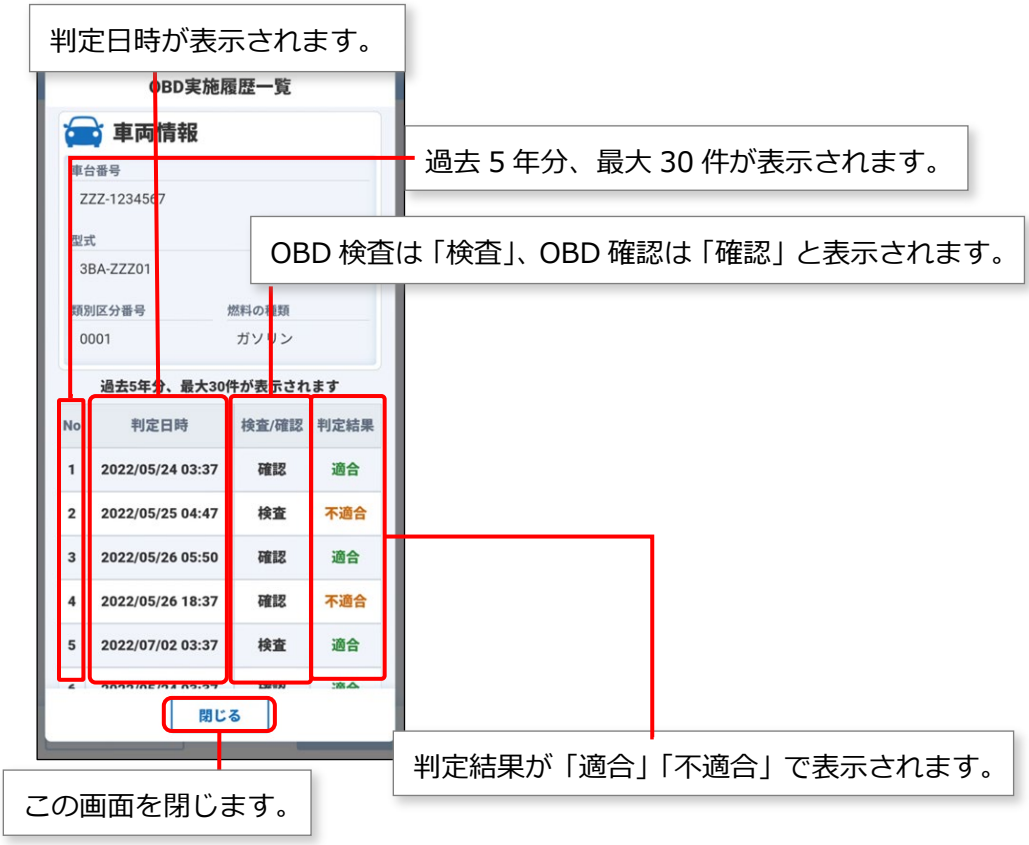
前回検査時と燃料の種類が異なる場合、以下の画面が表示されます。電子車検証または車検証等に記載されている燃料の種類と表示されている燃料の種類が同じであることを確認して、「はい」を押してください。

# ■過去の OBD 検査実施履歴を確認する

検査要否確認が完了すると、自らの事業場での実施にかかわらず過去に OBD 検査または OBD 確認を実施した履歴がある車両については、「OBD 実施履歴」が押せるようになります。

## 1.　「OBD 実施履歴」を押す

## 2.　内容を確認する




確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。

# 4.3　その他参考情報を確認する

受付した車両の参考情報を確認することができます。

**メモ**

その他参考情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- 諸元表

  「■諸元表を確認する」（P. 51）を参照

- リコール情報

  「■リコール情報を確認する」（P. 52）を参照

## ■諸元表を確認する

検査要否確認が完了すると、「諸元表」が押せるようになります。

### 1.　「諸元表」を押す

### 2.　内容を確認する

入力した型式の諸元情報が表示されます。「内容」欄に届出年月日のリンクがある場合は、該当する諸元表の PDF ファイルをダウンロードできます。

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面もしくは《判定結果》画面に戻ります。

**メモ**

平成 14 年以降の型式指定自動車であり、かつ自動車製作者等により諸元表情報が登録されている車両については、諸元表を閲覧することが可能です。ただし、すべての情報を網羅しているわけではないため、参考情報としてご利用ください。

## ■リコール情報を確認する

検査要否確認が完了し、車名コードが特定できる場合に、「リコール情報」のボタンが押せるようになります。

### 1.　「リコール情報」を押す

### 2.　リコール情報を確認する

対象車両のリコール届出をした自動車製作者等のホームページが、別タブで表示されます。

確認が終了したら、タブを閉じて《検査要否確認》画面もしくは《判定結果》画面に戻ります。